

立ち読み版



私たちが
つくって
います。

企業内

職人図鑑

7 伝統工芸品の二

こどもくらぶ／編



同友館

立ち読み版 はじめに

◎ 日本人とものづくり

日本人は、古くから手仕事をうやまい、職人の技術をみがきあげることと独自の文化をきずいてきました。明治維新以降も、西洋からの新しい技術を取り入れることで、世界有数の「ものづくりの国」となりました。

◎ 次世代へ受けつぐ、たいせつな財産

資源にとほしい日本で、明治以降の近代化を可能にし、昭和の敗戦のあとに復興をとげて高度経済成長時代をむかえることができたのも、「ものづくりの遺伝子」の力によるものです。このことは日本人がほこれる、たいせつな長所です。いくつもの世代をこえて伝えられてきた職人魂を次の世代へとつなげていくことは、いまを生きる私たちの役割です。

◎ 職人たちの仕事を知る

このシリーズでは、現代にあっても、ものづくりの心を失わず、日々、より良いものをつくろうとしている会社と、そこで働く人たちの仕事を伝えています。日ごろ何気なくつかっている品物が、どうやって生みだされているかを知ることできます。一人ひとりの仕事が社会とどう結びついているかに気づくことは、読者のみなさんが将来の職業を考える上でもきつと参考になることでしょう。

● ● ●

なお、このシリーズは、次のような9巻構成になっています。

- 1巻 スポーツ用品 2巻 楽器 3巻 食の周辺で
- 4巻 伝統工芸品 5巻 衣類・かばん 6巻 伝統食品
- 7巻 伝統工芸品の二 8巻 建築・木工 9巻 機械・金属加工

立ち読み版 はじめに

はじめに	2
この本の使い方	4

私たちがつくっています・伝統工芸品の二 ① 先人が築いた美濃和紙づくりの文化を未来へ

古川紙工	5
職人ファイル 井戸 亨さん (古川紙工 生産商品部)	12



私たちがつくっています・伝統工芸品の二 ② 国産の漆の復活で日本の伝統文化と伝統産業を守りたい

浄法寺漆産業	13
職人ファイル 玉山 保男さん (岬工房)	20



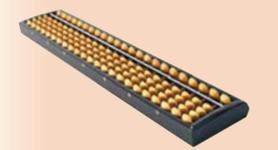
私たちがつくっています・伝統工芸品の二 ③ 益子焼最大の窯元として伝統を守り伝える

つかもと	21
職人ファイル 田中 慶孝さん (つかもと 製造部)	28



私たちがつくっています・伝統工芸品の二 ④ そろばんの魅力伝え高度な製造技術を保つ

ダイイチ	29
職人ファイル 宮永 孝信さん (ダイイチ 製造部)	36



もっと見てみよう、漆かき職人と美濃和紙の職人の技

漆かき職人／美濃和紙の職人	37
さくいん	39

立ち読み版

この本の使い方

この本では、身近なものや、知られざる名品、すぐれた品などをとりあげ、それをつくっている人たち、その会社を紹介しています。

1ページ目



その会社がつくっている製品です。

紹介されている会社の所在地、創立年、従業員数です。

2・3ページ目



どんなものをつくっているの？
とりあげた会社がつくっているものすごいところや、特徴などを具体的に紹介します。

ワンポイント
文中に出てくるキーワードや、知っておきたい重要な用語について解説しています。

4・5ページ目



どんな仕事場？

とりあげた製品が、どんなところで、どんなふうにつくられているのかを写真とイラストで紹介しています。

6・7ページ目



もっと見てみよう

とりあげた会社が、どうしているのかなどを具体的に紹介します。

ものづくりの極意

会社の創業からこれまでの歴史をふりかえり、ものづくりへのこだわりを見ていきます。

8ページ目



職人ファイル

とりあげた会社の社員の方に登場していただき、入社した動機や仕事へのやりがいなどをインタビューしています。写真は、インタビューにこたえてくださった本人です。

●●さんの1日

ふだん、どんなふうに住生活をしているのか。ある1日を例にとって、時間を追って見ていきます。

立ち読み版

私たちがつくっています・伝統工芸品の二

1

先人が築いた美濃和紙づくりの文化を未来へ

美濃和紙は、岐阜県美濃市を中心に生産される伝統工芸品で、楮、三椏、雁皮という木の皮を原料とします。この美濃和紙をおもに用い、さまざまな和紙製品の企画、デザイン、製造、販売をおこなっているのが、創業から180年をむかえた古川紙工です。



古川紙工

- 所在地 / 岐阜県美濃市
- 創業 / 1835 (天保6) 年
- 従業員数 / 41人



和紙の魅力を感じることができる、古川紙工の商品の数かず。

⇒続きは書籍で